



地球のいのちに出会う森

1円玉の大きさからはじまる、いのちと世界の話。

2023年10月、東山動植物園にコアラの赤ちゃんが生まれました。
有袋類であるコアラは、未熟な状態で生まれ、お腹の袋で成長する。
母の胎内にいる期間はおよそ35日。
出産直後は1円玉程度の大きさしかありません。体重は0.5~1g。
最初の行動は、母のお腹の袋に入り、お乳を飲むこと。
生まれたときは目も見えない。小さな体で、袋をめざす。
距離にして数センチ。それは、どてつもなく長く、危険な距離。
自力でよじ登る。最初にして最大の試練を乗り越え、袋に入る。
温かく、脅かされず、食べものもある場所。半年間はそこで育つが、
いつまでもそこには入れられない。大きくなって、はじめて袋から顔を出したとき。
その目に、世界はどう見えただろう。
目にさす陽の光、顔にあたる風。木の枝とユーカリの緑。葉から漂う香り。
やがて独り立ちして、生きていく場所。
今は成長し、もう袋に戻ることはない。母にしがみつき、世界を見つめている。

動物園で生まれた君は、きっと知ることはない。
コアラの故郷、オーストラリアのこと。広大な森とたくさんの仲間たち。
気候変動の原因と言われる森林火災に代表される、自然環境の危機。
ヒトの暮らしの影響による、生息地と生息数の減少。
君は、コアラという種を未来につなぐための大切ないのちでもある。
飼育と繁殖。動物園には、種の保存という重要な役割がある。
地球のいきものを脅かす危機が、その責任を日々重くしている。
君がすくすく育つ姿を、たくさんの人に見てほしい。
そして願わくは、オーストラリアのコアラたちも、
ずっどずっど、平穏に暮らしていけますように。

ヒトに
できることって、
なんだろう？



ブラザーは、東山動植物園のオフィシャル広報パートナーです。

2023年10月20日、東山動植物園生まれ。母はりん。父はインシ。
赤ちゃんの愛称は「もなか」です。



2024年は、
東山動植物園
コアラ楽園40周年。



記念サイト▼



東山動植物園 ナイトZOO&GARDEN開催!
日 程 2024年6月10日(土)・11日(日)・12日(月)・13日(火)・14日(水)・15日(木)・17日(土)・18日(日)
開園時間 9:00~20:30(入場は20:00まで)

詳細はこちら▼

